

最近の雇用失業情勢（令和8年2月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.22倍（季調値）」（前月から0.03ポイント低下）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月から0.03ポイント低下**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が低下しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数はサービス業で増。公務・その他、卸売業・小売業等で減。

[新規求人数]

当月：4,269人 公務・その他、卸売業・小売業等の減員により-657人
（前年同月 13.3%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
【サービス業】当月：486人 前年同月：+23人
- 「減」（対前年同月比）
【公務・その他】当月：192人 前年同月：-231人
【卸売業・小売業】当月：515人 前年同月：-146人
【製造業】当月：353人 前年同月：-75人
【医療・福祉】当月：890人 前年同月：-135人
【運輸業・郵便業】当月：314人 前年同月：-20人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.13倍 前年同月：-0.22P
【米子所】当月：1.39倍 前年同月：-0.09P
【倉吉所】当月：1.61倍 前年同月：+0.05P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.07倍（2か月連続で前年同月を下回る）
→全国指標1.02倍（7か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：1,857人（前年同月3.3%増）